

令和3年度 朝来市立(梁瀬小)学校 学校評価

年度末はこの様式にて提出してください。

学校教育目標

いのちを光輝かせる梁瀬っ子の育成
～自らの夢に挑戦し、
こころ豊かで自立する人づくり～

総合的な学校関係者評価

・コロナ禍で難しい中、地域の方にお世話になり「地域とともにある学校づくり」の具現化が図られ、地域の方が学校運営に携わるきっかけとなった年度であった。これらの意義等を多くの地域の方に理解してもらえようと考えてほしい。体験型の教育は子どもの成長につながると思う。自分から意欲を持って取り組める体験にしてほしい。
・今年度もコロナ禍の中、ご苦労が多いと思うが、工夫され、学校教育目標に向けて取り組んでこられたと思う。しかし、改善が必要な項目もあり、来年度に向けて、改善できることを期待したい。
・継続的な感染症対策をさせていただいている。コロナ禍だからという中止するだけでなく、感染対策を講じて、工夫しながら学校運営されている。

※文書表現で記入してください。

自己評価 達成状況 (A: 達成している B: 概ね達成している C: あまり達成していない D: 達成していない)

評価の観点		達成状況	学校の取組状況・今後改善すべきこと	自己評価の妥当性 (評価項目ごとの学校関係者評価・意見等)	
学校運営	地域とともにある学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	A	・今年もコロナ禍で保護者や地域の方に学校の様子を見ていただく機会を設けることが難しかった。しかし、その中でも工夫しながら11月には、保護者に様子を見てもらう機会を設けた。学校・学年・学級通信やホームページで情報発信はかなりできていた。ホームページで発信していることをもっとPRしていきたい。 ・地域と連携しての体験型の取組については、保護者等にも情報発信をしていく。	<p>・まだ、学校の様子がわからないと言われる方もいる。子どもたちの様子を直接見ることができることを待ち望まれている。CATV等で学校の活動が流れるときは、放送予定等知らせていく。 ・遠足や自然学校等既存事業で地域連携していくことも学校の負担軽減及び地域での学びの機会創出につながるのではないかと。 ・地域との連携は、地域の活性化にもつながる。地域との連携だけが目的ではなく、どんな学びが必要か「ねらい」も明確にしておく。 ・できるかぎり見やすい広報にしてほしい。</p> <p>・集団生活は、今後も続きます。今何をすべきか考え行動できる子どもに育ててほしいと思います。先生方には努力していただいている。 ・授業を見せていただき、落ち着いて取り組み、態度も良かった。 ・友だちを思いやる心を持った子どもたちを育ててほしい。 ・登下校の様子も定期的に見る機会を持ち、取り組んでほしい。</p> <p>・年々自然災害が多発しており、敏速に対応できるように今後も取り組んでほしい。訓練等は、危機感を持った訓練になっているか。 ・実際の災害も例に挙げ、指導してほしいと思います。 ・子どもから訓練の様子などを聞き、工夫していただいていると感じた。</p> <p>・継続した感染症対策をさせていただいています。コロナ禍だからと中止するだけではなく、感染対策を講じて、工夫しながら学校運営されていると感じます。</p> <p>・地元根付いた体験型の教育を特色にしていきたいです。 ・6年間を見通した学びが大切だと思います。 ・市の学校が特色を相互に共有できるようになればと思います。</p>
		オープンスクール(学校公開)など住民参加の教育活動の推進	B		
	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり	A	・いじめ対応も予防も早期対応も組織的に連携し取り組めた。 ・週1回の情報共有する時間を金曜日に設定し、行うことができた。週1回という定期的な取組により、児童の様子把握できた。今後も継続していきたい。 ・年3回の児童を語る会も今年は定期的に行うことができ、共通理解につながった。 ・今年も児童支援教員を中心に連携をとりながら、組織的に取り組めた。この連携は今後もしっかりと継続し、より早い対応ができるようにしていきたい。 ・規律やけじめ、学校生活のルールの徹底を図るために教職員で4月時点での共通理解をしっかりと行い、より同一歩調で取り組めるようにしたい。	
		児童生徒の内面理解を図る指導の工夫	A		
		いじめ、不登校、問題行動、ネットトラブル等への適切な対応	A		
	危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し	B	・安全点検が定期的に行えた。防犯カメラの点検も定期的に行っていく。 ・避難訓練や事前事後の指導や学習も行うことができた。 ・今年も引き渡し訓練もでき、警報時で引き渡しを行ったが、対応できた。 ・防災におけるマニュアルの点検や見直しはできたが、防犯に関する訓練や対応はできていなかった。防犯面での対応の仕方が今後の課題である。 ・安全指導も計画的な指導ができ、下校指導も計画的にできた。	
		地域課題に応じた防災、防犯教育の実施	A		
	特別支援教育	インクルーシブ教育の推進、校内の指導体制、個に応じた指導	A	・担当者が責任を持ち、中心的な役割を果たすことによって、より取り組みになっている。定期的な校内支援委員会やケース会議の実施で、支援体制も整っている。今後もさらなる支援の充実をめざしていきたい。	
	安全安心に過ごすことができる学校づくり	新型コロナウイルス感染症対策	A	・コロナ対策は、何度も全校児童に予防の大切さを指導したり、家庭への文書での啓発を行った。学校での活動においても、感染対策を講じて行った。	
	あさごドリームアップ事業	特色ある学校づくり	A	・ふるさと教育として、カリキュラムの見直しや目標確認しながら、コロナ対策を講じて行った。児童たちもしっかり取り組んでいたが、コロナ禍で活動できなかったものもあった。	
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	主体的・対話的で深い学びの視点に立ち情報活用能力育成を含めた授業改善、授業のUD化の推進	A	・UD化については、年度当初に全職員が統一して共通理解を図り、実施したが、まだまだ定着していない面がある。さらなる共通理解に努め、推進していきたい。 ・総合的な学習の時間は、内容的には、充実してきたが、6年間を見通した計画の見直しや改善を図る必要がある。評価のあり方も検討する必要がある。 ・コロナ禍の中、研究授業等密になりやすい研修は分散して取り組みながら、全教員が実施した。一定の時期に集中してしまっただけでは、課題と感ずる。 ・ICTの研修等積極的に取り組めた。さらに充実できるように取組みたい。 ・児童の課題である「表現力の向上」に向けて、研修し、書く場面を取り入れた授業を全教員で共通理解を図り、取り組めた点は良かった。 ・道徳教育は、授業の時間をしっかりと確保し、全クラスで取り組めた。児童たちが実践につなげられているか検証していく必要がある。	<p>・コロナ禍の中、いろんな制約があり、計画通りに実施していくことは難しいと思います。 ・学力向上に向けてよりいっそう努めていただければと思います。 ・自立性を持たせる教育が求められていると思います。 ・自分でやってみることで深められ、覚えることも多いと思う。体験により学ぶべきことも多いと思います。 ・タブレット端末では、低学年は家庭に持ち帰り、親子で取り組むということはできないか。</p>
	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫	A		
	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫	A		
	総合的な学習の時間	全体計画に基づく工夫改善	B		
	人権教育	人権尊重の精神の育成	A	・担当者が責任を持ち、中心的な役割を果たすことによって、人権兵庫発表会等よい取り組みになっている。(人権教育)4年生は特に「人権の花運動」を年間通して取り組み、意識が高められた。しかし、まだ十分とは言いがたく、今後は学んだことが生活の中で実践していけるかをしっかりと見ていきたい。 ・体験活動については、学年のつながり、系統性を見直し、今年度は、具体的な活動を行った。体験で得られることは多く、今後も充実を図り、継続していきたい。 ・食育については、栄養教諭が中心となり、各教科でも取り組めた。今後は、活動を広く知ってもらい、家庭や地域にも発信していきたい。 ・キャリア教育は、計画を見直し、学級活動の教育課程にキャリアの視点(内容③)の位置づけを行い、本年度は、時間を確保し取り組んだ。	
課題教育	体験活動の充実	自然学校、トライやる・ウィーク等を含めた体験活動の充実	A		
	食育の推進	栄養教諭と連携した食育の推進	A		
	キャリア教育	進路選択能力の育成・社会的自立に必要な態度や能力の育成	B		
	その他	特別活動・外国語教育・ICT活用	B A B	・特別活動に関しては、児童たちの自立を高めることをねらいに縦割り班活動や屋外集会等、活動できた。しかし、計画的な面や学級活動の在り方等まだまだ見直しも必要と考え、来年度に向けて今年度の反省を受け、計画から検討していきたい。 ・外国語教育に関しては、ALTと連携し、工夫しながら取り組むことができた。評価に関する講師を招聘しての研究など、教育の資質向上にも努めた。 ・オンライン授業の試みや授業でのICT機器の活用等、どの学年でも積極的に行った。夏には、集中研修も行い、教員の指導力向上にも努めた。ICT機器は、授業だけでなく、行事や朝会等でも活用できた。	